

3葉期の**ノビエ**はもちろん しつこい**アゼナ類**に よく効く!!



4つの成分が
効く!!

成分①

イマゾスルフロン



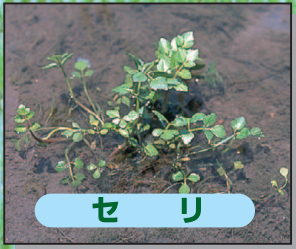
ホタルイ



ミズギャツリ

成分②

プレチラクロール



セリ



アゼナ類



ノビエ



オモダカ

成分③

ジメタメトリン



藻類

成分④

シハロホップブチル

3葉期まで
効果あり!

水稻用
初・中期一発処理除草剤

OAT
シエルフ 1キロ粒剤



特長

- ① ノビエの3葉期まで適用があり、従来の初・中期一発剤に比べ使用時期が更に拡大された水稲用初・中期一発処理除草剤です。
- ② 移植後5日～30日まで使用でき、広範囲の雑草に対しても除草効果が優れています。
- ③ 使用時期が拡大されたことにより、雑草の発生が揃うのを待って1回の処理で効率的に雑草防除することが可能です。
- ④ ノビエの後次発生が問題となる寒地・寒冷地においても「シェリフ1キロ粒剤」の一発処理で十分な効果が期待できます。

●適用及び使用方法

平成27年1月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ (北海道、関東・東山・ 東海、近畿・中国・四国) ヒルムシロ セリ クログワイ (北海道、北陸を除く) エゾノサヤヌカグサ (北海道) アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後5日～ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	砂壤土～ 埴土	1kg/10a	1回	湛水散布	全域の普通期 及び早期栽培地帯
イマズスルフロンを含む 農薬の総使用回数		シハロホップブチルを含む 農薬の総使用回数		ジメタメトリンを含む 農薬の総使用回数		プレチラクロールを含む 農薬の総使用回数	
2回以内		3回以内		2回以内		2回以内	

●一般的性状

有効成分および含有率

- イマズスルフロン ……0.90%
- シハロホップブチル ……1.8%
- プレチラクロール ……4.5%
- ジメタメトリン ……0.60%

●製剤の安全性

人畜毒性
普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

急性経口毒性
LD₅₀ラット(♂, ♀) >5,000mg/kg
マウス(♂, ♀) >5,000mg/kg

急性経皮毒性
LD₅₀ラット(♂, ♀) >2,000mg/kg

●散布時期 (時期を失しないように次の時期に散布してください。)



ノビエ3葉期までに散布

●草種別散布適期

草種	散布適期	発生時期
ノビエ	3葉期まで	ヒルムシロ クログワイ
ホタルイ	2葉期まで	発生期まで
ウリカワ		発生始期まで
ヘラオモダカ		再生前から再生始まで
ミズガヤツリ		アオミドロ
エゾノサヤヌカグサ		表層はく離

使用上の注意

- 散布後の水管理: 散布に当たっては、水の出入りをとめて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害する恐れがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、特に注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では、使用しないでください。
- 本剤を散布した水田の田面水は、他作物の灌水に使用しないでください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋は圃場等に放置せず適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。